

第4回内航船舶の代替建造促進に関する懇談会議事概要

【委員からの主な意見】

- ・内航海運活性化に向けては、ドラスティックに進めていくべきではないか。
- ・中小造船業界としては、内航船の代替建造が進むことは望ましいことであり、アクションプラン策定についても協力は惜しまない。実効性のあるアクションプランが策定・実施されることを期待している。
- ・このように関係者の間で代替建造へ向けての機運が高まったことで、一步前進したと言えるだろう。船用工業界としては、今後は新しい技術だけでなく、今まで培われてきた技術の見直し等も行い、努力してまいりたい。
- ・鉄道建設・運輸施設整備支援機構としても、アクションプランに対して協力していく所存である。共有建造制度を通じて、代替建造促進に努めてまいりたい。
- ・船舶を運航する立場としては、経済性が最も重要である。その点に留意して進めていてもらいたい。

事務局より、最終的に取りまとめた報告書（案）について説明がなされ、原案のとおり了承された。